



銀杏

第107号

編集兼発行所

栃木県立矢板東高等学校

・同附属中学校PTA

矢板市東町4-8

TEL 0287 (43) 1243

HP アドレス <http://www.tochigi-edu.ed.jp/yaitahigashi/>



PTA会長

新部 範衣

少々お時間をいただきます。

「PTA会長」と聞いて、みなさんはどんな人物を想像するでしょうか。威厳のあるお父さん？ 地域の名士？ 地政に関わる女社長？ そういふ人が、引き受ける役職だと思いませんか？ 違います。今年の矢板東の会長は、ただただ学校での我が子を見ただけのお母さんです。

そんな、ただのお母さんが、なぜ今ここにいるのか、かいつまんでお話しさせていただきます。初めて役員になったのは、現在高校でお世話になっている上の娘が幼稚園に入園したときです。文化部の役員になり、仕事はお祭りのお手伝いがメインでしたが、役員であればお祭りのときだけでなく、運動会のときも駐車場が用意されていたので、これに味をしめ、中学校でお世話になっている下の娘が卒園するまで6年間務めました。小学校に進学すると、そこは小さな規模の学校で、保護者がみな何ら



学校長

杉保 男

新たな社会に向けての学び

PTA会員の皆様には、日頃から学校の様々な教育活動に多大なご協力とご支援をいただいておりますことに對しまして、心から感謝申し上げます。

人生100年時代と言われます。社会は、狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)と発展してきました。そして「新たな社会」(Society 5.0)は仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムで社会的課題を解決しつつ経済発展していく超スマート社会が実現するそうです。IOT(Internet of Things)やビッグデータの活用など技術革新が急速に進んでいます。マサチューセッツ工科

かの役割を果たさないとイベント事が運営できませんでした。そこで広報部に所属し、あることに取材と称して学校に訪れては、我が子をただ眺めるという日々を過ごしていました。そのうち先生や保護者とう顔見知りになり、広報部長、副会長を引き受けるようになっていきました。そう、ただただ我が子を眺めていただけなのに。さらに、上の子が附属中学に入学するときに、学年部長をお願いされ、次の年にはPTA副会長をお願いされ、お願いされると断りきれない私は、我が子見たさも相まって引き受け続けて、眺め続けて来たわけです。

そして、感染症が蔓延し始めたころ、学校でのイベント事がなくなってしまう、我が子を眺めることがままならなくなってしまう、その時、会長を引き受けて欲しいという打診がありました。悩みました。そんな「見たい」という不純な動機で引き受けていいのだろうか、と。でも、やっぱり我が子が見たいのです。会長なら何かにつけて学校に訪れるチャンスがあるでしょう。娘たちも、学からにはきちんとやりなよ、と背中を押してくれています。

私は、ただ我が子を見たいだけの普通のお母さんですが、引き受けたからにはしっかりと務めあげたいと思っています。みなさま、こんなPTA会長です。1年間よろしくお願いいたします。

大学(MIT)のマックス・テグマーク教授は、AIの進歩によって将来の職業は変わっていくと言います。そして、「あらゆる職種で『AI』で何ができるかを理解し、うまく活用できる人が生き残る」のだとし、どんな職業でも最新のAI技術が何か、アンテナを張って知ることが重要だと結びます。

「新たな社会」(Society 5.0)には、学びの在り方に共通する力として、文章等を正確に読み解き対話する力、科学的に思考・吟味し活用する力、価値を生み出す感性と力、好奇心・探求力などが求められます。そして、新たな社会を牽引する人材の育成が必要です。そのためには、多様な学びの機会を提供することが大切です。本校でも変化する社会を生き抜くために必要な汎用的な能力・態度・志向を育てるべく教育活動を行っています。今回の学習指導要領の改訂は、「社会に開かれた教育課程」「各学校におけるカリキュラム・マネジメントの実現」、そして「主体的、対話的で深い学びの実現」を目指しています。「新たな社会」(Society 5.0)という未来に向かって、ともに歩み続け、幸福な人生を創る人材を育てていきたいと考えます。

事務室から

最近の施設整備について

本校の普通教室棟は昭和57年に、管理棟は昭和63年に竣工されました。校舎は比較的良好な状態に保たれていると思いますが、竣工から30年以上が経過し、施設の老朽化や設備の陳腐化が進行している状態です。

このようななか、昨年度はPTA支部会からの寄付金を基に、体育準備室に空調設備を整備することができました。夏季における体育の授業や部活動時の安心につながったと思います。ありがとうございました。

一方、県におきまして、生徒の皆さんが安心して学校生活を送れるよう、限られた予算のなかではありますが、施設や設備の充実を図っています。今回は、紙面をお借りして最近の整備状況についてご紹介いたします。

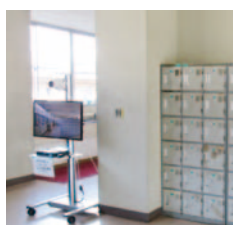
まず、県では、令和元年度からの3カ年計画により必要性の高い特別教室への空調設備の整備を行っています。本校では、令和元年度は新棟の3つのゼミナール教室に、昨年度は音楽室・調理室・地学室・生物室に設置し、今年度は被服室・美術室・書道教室に設置する予定です。

また、昨年度は老朽化したボイラー施設を撤去して、FF暖房機を全ての教室に設置しました。

さらに、昨年度及び今年度は、コロナ感染症への対策に要する経費が予算措置され、消毒用品の充実をはじめ、体温が測定できる大型モニターの購入やトイレや廊下手洗い場の蛇口の自動水栓化など、様々な感染症対策を講じることができました。

このほか、GIGAスクール構想により、校内LANやタブレット等の機器が整備され、学校のICT環境も徐々に整ってきているところです。

今後も、施設面から教育環境の充実に努めて参りたいと思っております。よろしくお願いいたします。



昇降口の大型モニター



廊下手洗い場の自動水栓